

平成31年3月期 第2四半期  
**決算説明会**

平成30年11月2日  
株式会社 **DTS**

# 目次

1

平成31年3月期 第2四半期決算概況

2

主要施策の状況

3

平成31年3月期 通期見通し

## 本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

---

# 1. 平成31年3月期 第2四半期決算概況

---

## 1. データリンクス株式会社を株式会社DTSへ吸収合併

平成30年10月1日、データリンクス株式会社をDTSに吸収合併した。  
業務シナジーの拡大や効率的なリソース活用の更なる推進により、経営の効率化、意思決定の迅速化を図る。

## 2. 自己株式の取得

平成30年5月～6月、資本効率の向上ならびに、株主へより一層の利益還元を図るため、自己株式を取得した。(約134千株、約6億円)

# 第2四半期 連結業績

売上高は、情報通信業や運輸業・郵便業、組込み関連(車載)の案件拡大などにより統合案件の減少をカバーし、前年同期比+7.3億円。

営業利益は、不採算案件によるマイナスは増加したものの、原価率改善などで+5.8億円の増益となり、売上高とともに過去最高更新。

(単位：億円)	実績	売上比(前年同期比)		前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	415.6	—		+7.3	101.8%	47.8%
売上総利益	83.6	20.1%	(+0.9pt)	+5.2	106.6%	48.6%
販管費	39.2	9.4%	(△0.3pt)	△0.6	98.4%	46.2%
営業利益	44.3	10.7%	(+1.2pt)	+5.8	115.1%	51.0%
経常利益	45.0	10.8%	(+1.4pt)	+6.6	117.3%	51.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	30.6	7.4%	(+1.1pt)	+5.0	119.9%	52.4%

# 第2四半期 個別業績

売上高は、保険やメガバンク、運輸など幅広い業種の案件拡大により、統合案件の減少をカバーし、前年同期比+2.5億円。

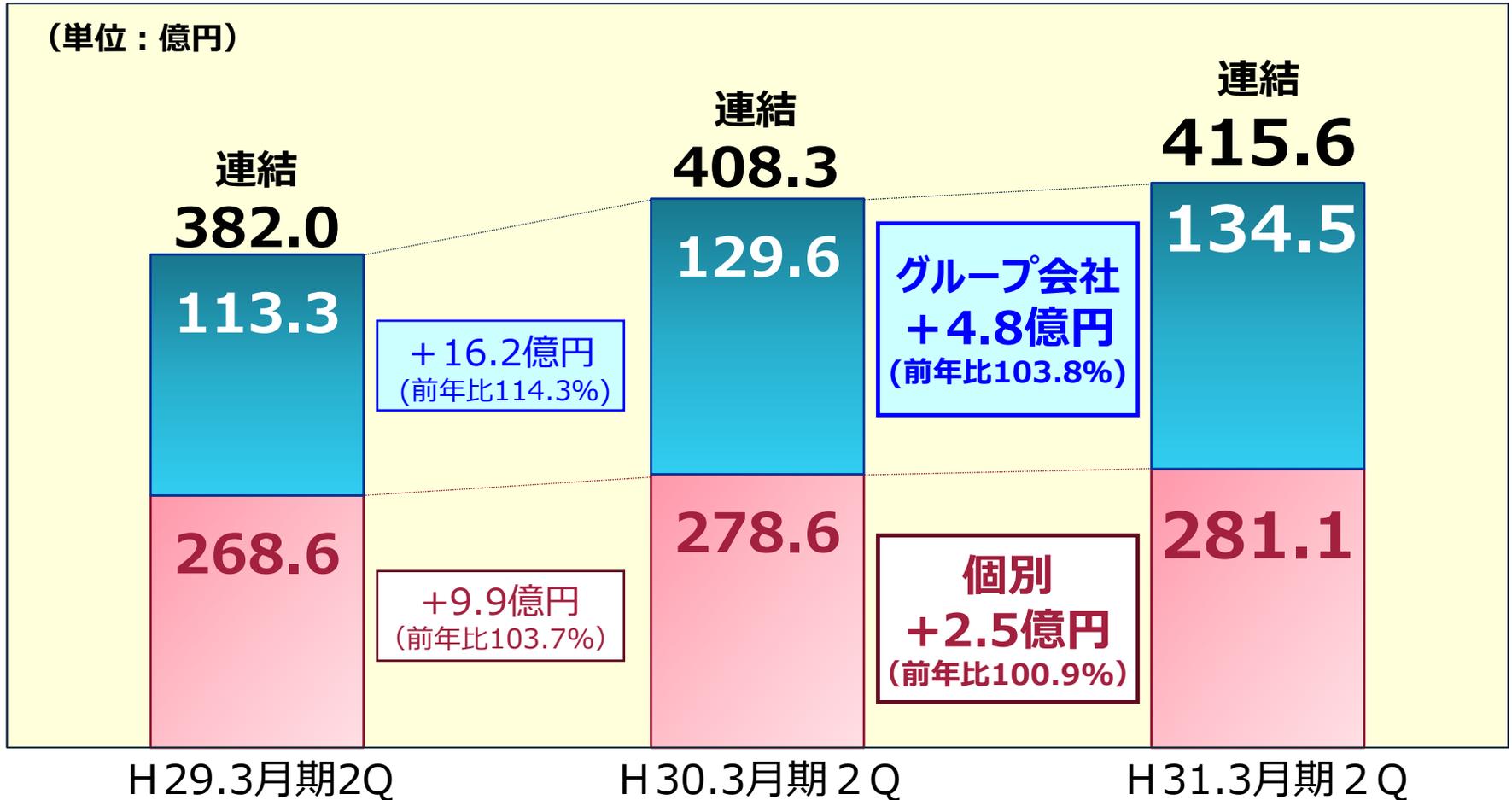
営業利益は、営業本部の体制強化、新卒採用拡大による教育研修費の増加、不採算案件の発生などにより前年同期比△1.4億円。

(単位：億円)	実績	売上比(前年同期比)		前年同期比	
売上高	281.1	—		+2.5	100.9%
売上総利益	55.3	19.7%	(△0.4pt)	△0.6	98.8%
販管費	22.5	8.0%	(+0.2pt)	+0.6	103.2%
営業利益	32.7	11.6%	(△0.6pt)	△1.4	95.9%
経常利益	36.3	12.9%	(△0.3pt)	△0.4	98.7%
四半期純利益	25.9	9.2%	(△0.1pt)	+0.0	100.1%

# 第2四半期 売上高の推移【個別・グループ会社】

組込み案件などが好調に推移し、グループ会社全体で前年同期比+4.8億円(+3.8%)となり、2期連続で個別(DTS)の伸びを上回った。

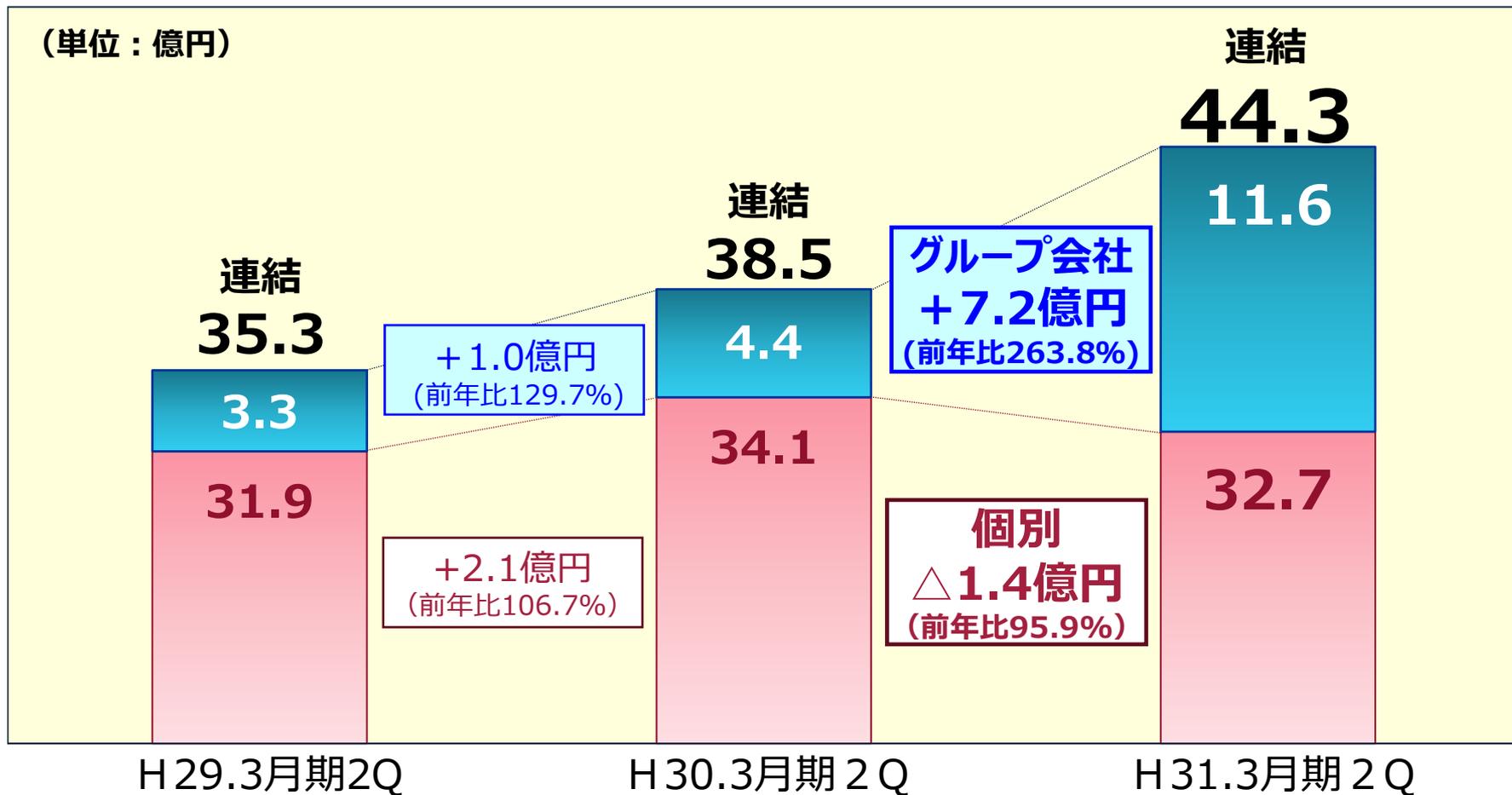
■ 個別売上高 ■ グループ会社売上高 (連結調整含む)



# 第2四半期 営業利益の推移【個別・グループ会社】

平成31年3月期第2四半期のグループ会社営業利益は、前年同期比+7.2億円拡大し、連結営業利益の増加を牽引した。

■ 個別営業利益      ■ グループ会社営業利益（連結調整含む）



# 第2四半期 セグメント別 売上高

- ・金融公共セグメントでは、メガバンクや生保などが伸長したが、統合案件の減少をカバーできず、減収。
- ・法人通信ソリューションセグメントでは、情報通信業や運輸業、組込み関連の車載系案件の拡大などにより増収。
- ・運用BPOセグメントでは、生保や情報通信業での運用案件拡大により増収。
- ・地域・海外等セグメントでは、金融系ビジネスなどが好調で増収。

(単位：億円)	実績 (※)	構成比 (前年同期比)		前年同期比		業績予想に 対する進捗率
売上高	415.6	—		+7.3	101.8%	47.8%
金融公共	122.7	29.5%	(Δ3.7pt)	Δ13.0	90.4%	44.0%
法人通信 ソリューション	124.8	30.0%	(+2.8pt)	+13.6	112.3%	49.4%
運用BPO	65.5	15.8%	(+1.0pt)	+5.3	108.8%	52.0%
地域・海外等	102.4	24.7%	(Δ0.1pt)	+1.5	101.5%	48.3%

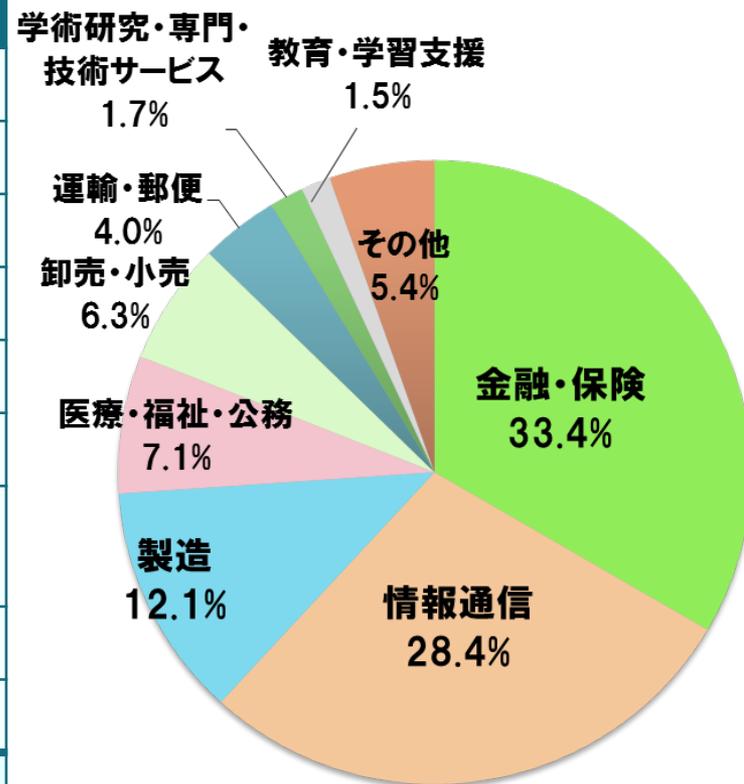
※実績はグループ外への売上高

# 第2四半期 エンドユーザー別 連結売上高

- ・金融・保険は、保険などが堅調に増加したが、統合案件の減少影響により減収。
- ・情報通信は、主に情報サービス向け案件が拡大し、増収。
- ・運輸・郵便は、鉄道業などの伸長により航空業の減少をカバーし、増収。
- ・医療・福祉・公務は、年金や共済などの案件が伸長し、増収。

## 経済産業省による業種分類別売上高

(単位:億円)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	138.9	33.4%	△8.0	94.5%
情報通信	117.9	28.4%	+6.0	105.4%
製造	50.2	12.1%	+1.7	103.7%
医療・福祉・公務	29.6	7.1%	+2.2	108.3%
卸売・小売	26.3	6.3%	+0.0	100.1%
運輸・郵便	16.6	4.0%	+2.8	120.3%
学術研究・専門・ 技術サービス	7.2	1.7%	+1.6	130.1%
教育・学習支援	6.2	1.5%	△2.8	68.6%
その他	22.3	5.4%	+3.7	120.2%
合計	415.6	100.0%	+7.3	101.8%



# 第2四半期 連結営業利益の増減要因

組込み関連の利益率向上などによる原価率の改善で、不採算案件の増加によるマイナスをカバーし、営業利益は前年同期比+5.8億円(+15.1%)となり、過去最高を達成。

(単位：億円)



## 【受注残高の状況】

- ・金融公共セグメントでは、証券の大型案件獲得、生保やメガバンクの案件拡大などにより統合案件の減少をカバーし、増加。
- ・法人通信ソリューションセグメントでは、情報通信業や組込み関連が伸長。
- ・運用BPOセグメントでは、保険系案件や情報通信業の既存案件拡大で増加。
- ・地域・海外等セグメントでは、受注時期の前倒しや既存案件の拡大で増加。

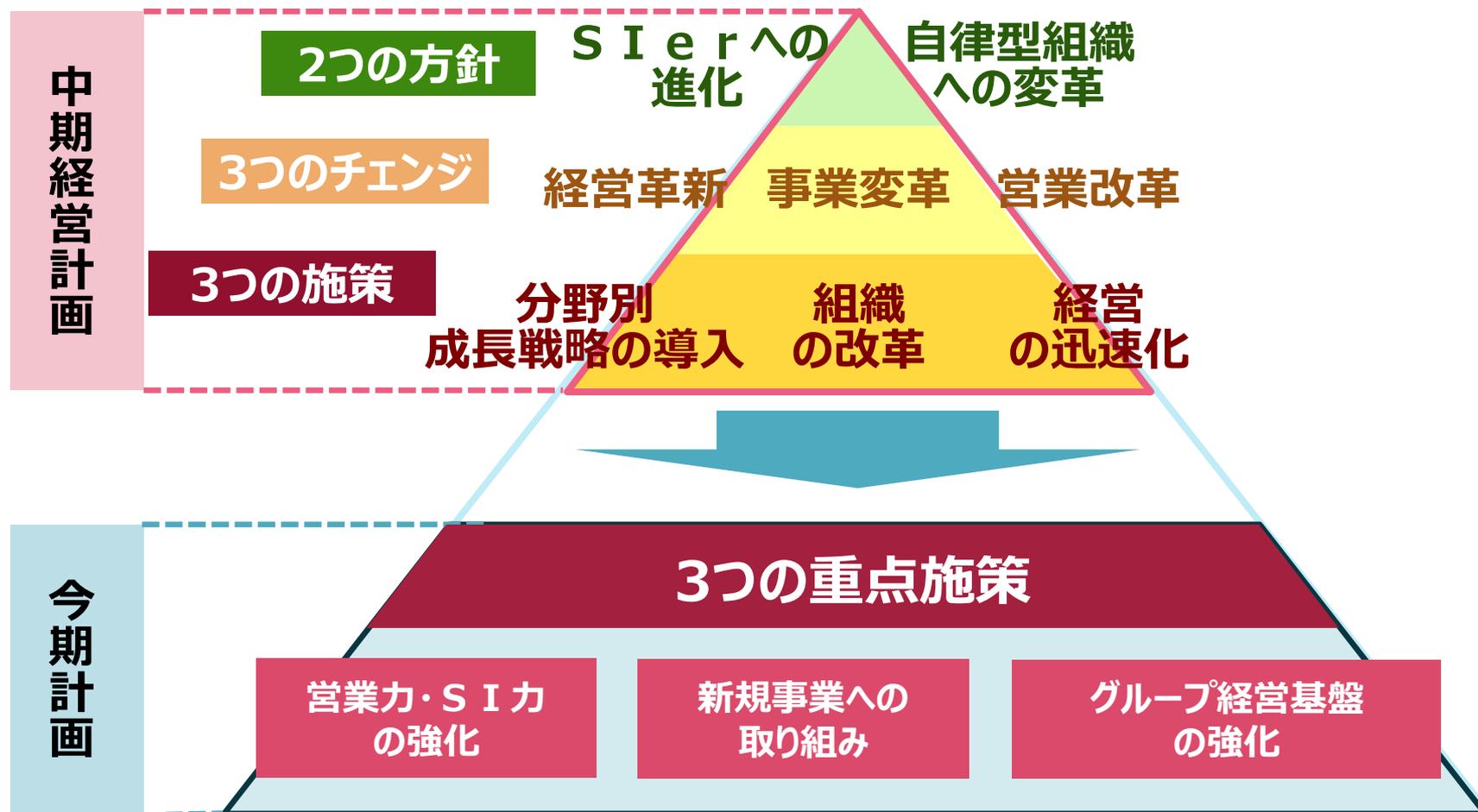
単位(億円、%)	受注高				受注残高			
	実績	構成比	前年同期比		実績	構成比	前年同期比	
<b>連結</b>	<b>333.4</b>	—	+22.4	107.2%	<b>271.4</b>	—	+28.5	111.7%
金融公共	85.0	25.5%	△3.7	95.7%	100.9	37.2%	+6.1	106.5%
法人通信 ソリューション	125.4	37.6%	+22.3	121.6%	67.8	25.0%	+8.2	113.9%
運用BPO	18.1	5.4%	+2.9	119.2%	59.6	22.0%	+6.7	112.8%
地域・海外等	104.8	31.4%	+1.0	101.0%	42.9	15.8%	+7.2	120.5%

---

## 2. 主要施策の状況

---

中期経営計画の方針に基づき、将来に向けた更なる成長を実現するため、「3つの重点施策」に取り組んでいる。



## 1. 営業力・SI力の強化

- ・強固な顧客基盤の構築に向け、「プラスOne戦略」、「BiG8戦略」への取り組みを継続中。
- ・顧客ニーズにワンストップで対応するため、営業本部内にSI推進担当を設置し、アカウント営業担当と連携することで提案活動の強化を図り、大型SI案件を獲得した。
- ・車載系組込みソフト開発を効率化するメモリモニタリングツール、製造業向けコネクティッドインダストリーソリューション、仮想化技術を活用したハイブリッドクラウドソリューションなど、各ソリューションの販売を拡大するため、さまざまな展示会に出展している。
- ・海外グループ会社を積極活用したオフショア開発の拡大が進行中。

## 2. 新規事業への取り組み

- ・金融業・保険業では、業務知識とRPAを活用し、業務効率化を目的とした案件が拡大中。
- ・マネーロンダリング対策ソリューションの開発を進めており、仮想通貨取引所への販売や、海外の展示会出展により新規顧客獲得を目指している。
- ・2018年9月、処理速度の大幅向上など、機能を大幅に刷新した新WIHの販売を開始。
- ・ハイブリッドクラウド環境の実現が可能なソリューションの販売が拡大している。

## 3. グループ経営基盤の強化

- ・2018年4月、働き方改革の実現に向け、DTSでは時差勤務の試行運用を開始した。
- ・2018年10月、DTSでは、業務の効率化に向け、経費精算システムを導入した。
- ・2018年10月、経営効率化、意思決定迅速化に向けDTSがデータリンクスを吸収合併。

# (参考1)営業力・SI力の強化への取り組み①

顧客基盤の強化に向け、2つの施策に注力している。  
「プラスOne戦略」では、金融業・保険業において業界大手企業の新規獲得を目指しており、「BiG8戦略」では、注力企業の更なる売上拡大に向けて取り組んでいる。

## <プラスOne戦略>

新規顧客3社では、各社の売上高が1億円規模に拡大する計画。

【金融業・保険業 業界大手企業の顧客数】

9社 (H29.3期初) → 12社 (H31.3計画)

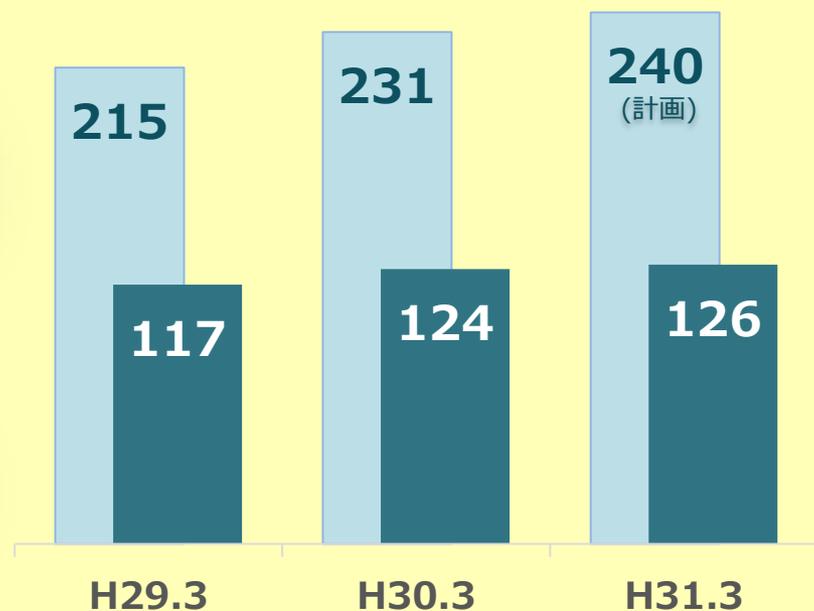
【新規獲得3社の売上高合計】

0.4億円 (H29.3実績) → 4.1億円 (H31.3計画)

## <BiG8戦略>

【注力企業の受注高合計】

■ 通期実績 ■ 上期実績 (億円)



# (参考1)営業力・SI力の強化への取り組み②

営業本部にSI推進担当を設置し、事業本部、グループ会社の連携を促進したことで、大型SI案件を受注する見込み。

海外グループ会社との体制を強化し、オフショア開発比率をより一層高めることで、SI競争力の向上を目指している。

## <大型SI案件獲得>

SI推進担当を中心に全社一丸となって提案活動に取り組んだ成果。



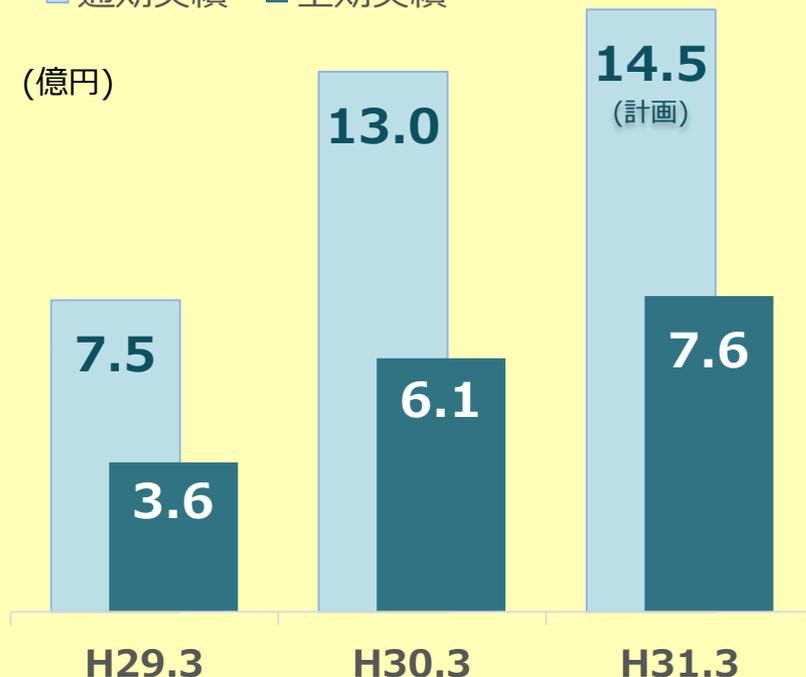
成果

全体規模20億円超の  
SI案件受注見込み

## <オフショア発注額（連結）>

■ 通期実績 ■ 上期実績

(億円)



# (参考2)新規事業への取り組み①

DTSグループでは、CAMBRICに関する取り組みに注力している。  
RPAでは、業務効率化に向け、金融業・保険業などで案件が拡大しているほか、DTSや日本SEにおいては、社内導入に向けた検討を進めている。  
店舗運営業務の省力化に向け、AI等を活用した実証実験を実施した。  
クラウドにおいては、デジタルテクノロジーのHCIの販売が拡大している。

## <Robotics(RPA)>

【案件の拡大】

2件 (2017/9時点) → 13件 (2018/9時点)

### 【ソリューションの強化】

新たにUiPathの開発リソース  
パートナーに認定(DTS)

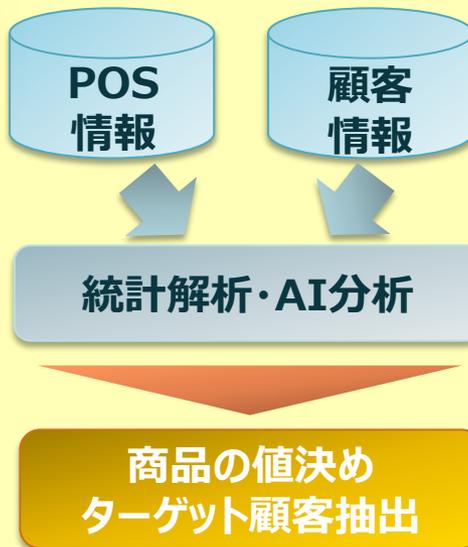
#### ◆ 取り扱いソリューション



WINACTOR

## <AI・ビッグデータ>

AI・ビッグデータを活用した  
実証実験を実施(※)

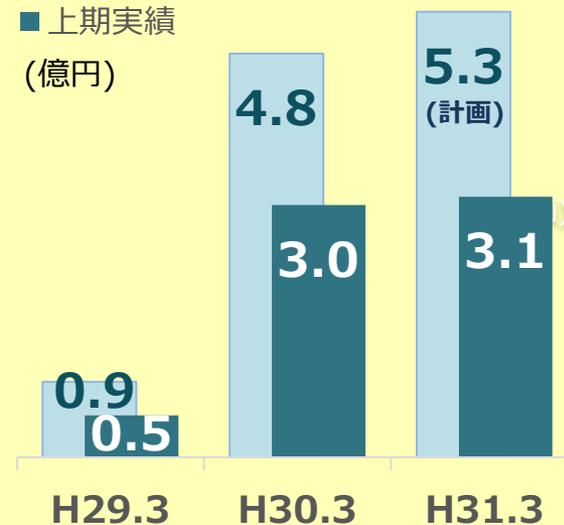


※東芝テック様と共同で実施

## <クラウド>

ハイブリッドクラウド環境が実現  
可能なハイパーコンバーズドイン  
フラ(HCI)が販売拡大中

■ 通期実績  
■ 上期実績  
(億円)



DTSはアンチマネーロンダリングソリューションの開発を進めており、仮想通貨取引所などへの販売など、新規顧客獲得を目指している。

SIBOS 2018、ASOCIO Digital Masters Summit 2018にDTSとNelitoが共同出展し、両社ソリューションの知名度向上に取り組んだ。

## <DTS・Nelito展示会共同出展>

**sibos**  
SYDNEY  
22 - 25 Oct 2018

**ASOCIO**  
2018  
TOKYO

DTS、Nelitoの金融関連ソリューションを国際的な展示会でアピールした

(ASOCIOは11月7~8日、東京にて開催予定)

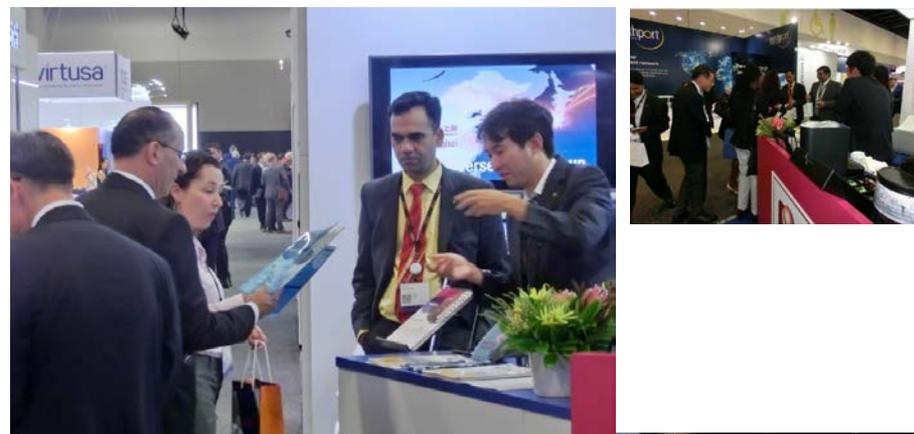
### ◆展示会に出展したソリューション



**AMLソリューション**  
(アンチマネーロンダリングソリューション)



**Fincraft**  
(中小銀行向けコアバンキングシステム)



2018年9月、機能を大幅刷新したWalk in homeの販売を開始した。  
刷新により、「システム基盤の刷新による処理速度の大幅向上」、「CGエンジンのオリジナル化によるリアルシャドウ機能の追加」、「他システムとの連携強化」を実現し、既存顧客のソフトウェア更改や新規顧客の獲得を目指す。



<新WIH 画質イメージ>

リアルな木目やガラスの反射などを瞬時に表示

<リニューアルの3つの特徴>

◆ 速い

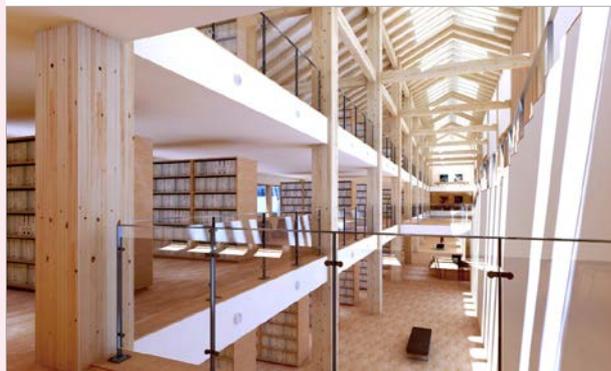
処理速度が**従来の2倍**

◆ 美しい

瞬時に**高画質のCG画像**ができる機能を組み込み、**迅速なパース化**実現

◆ 使いやすい

他システムとの連携強化などにより**オペレータの作業負担を軽減**



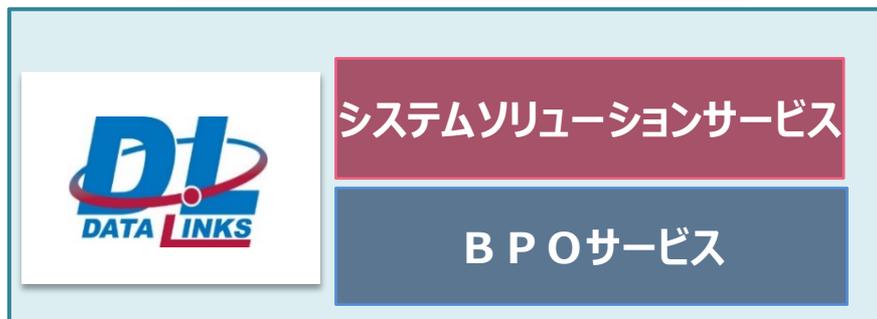
# (参考3)グループ経営基盤の強化①

2018年10月、株式会社DTSはデータリンクス株式会社を吸収合併した。経営の効率化、意思決定の迅速化を図ることで、業務シナジー拡大やリソースの効率的な活用を進め、グループ収益力の強化および企業価値の更なる向上に向けて取り組む。

(データリンクスの合併)



吸収合併による  
事業シナジーの更なる向上



合併効果	
営業強化	・顧客基盤共有による営業活動の効率化、ならびに新規顧客や新規分野開拓への営業リソース投入
開発強化	・当社のソリューション・パッケージ開発力と、データリンクス株式会社のデータマイニングや基幹系システムの技術力を融合し、新規顧客の獲得に向けた開発・技術基盤を強化
人材強化	・両社の人材流動による業務ノウハウの共有、人材育成の強化
経営基盤強化	・経営の効率化、意思決定の迅速化 ・管理業務の効率化、生産性向上

# (参考3)グループ経営基盤の強化②

働き方改革の実現に向け、DTSでは2018年4月より時差勤務の試行運用を開始した。対象組織の拡大や本格運用に向けて検討を進めている。

DTSは経費精算システムを導入し、業務プロセスの見直し、ペーパーレス化やモバイル活用、経理担当の工数削減等による業務効率化を進めている。

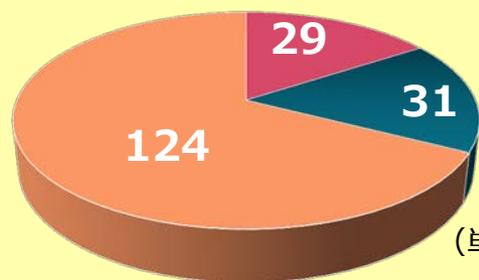
## <時差勤務>

DTSの本社勤務者(スタッフ部門)を対象に試行運用中。



対象者184名のうち、60名が利用。育児等の時短社員の利用もあり、多様な働き方を整備。

■ 女性 ■ 男性 ■ 利用なし



制度利用者  
**33%**

(単位：名)

## <経費精算システムの導入>

業務効率向上に向けた導入効果

業務プロセス見直し、ペーパーレス化、モバイル活用による業務効率化



精算業務工数の  
削減

本社・  
事業部門スタッフの  
**稼働減少**

---

## **3. 平成31年3月期 通期見通し**

---

**国内企業は業績が好調であり、IT投資も堅調に推移する見込み。  
人手不足の解消に向けた、生産性向上・働き方改革関連への投資や、顧客管理・顧客接点強化に関するIT投資も増加する見込み。**

業種	IT投資の見通し
金融・保険	<ul style="list-style-type: none"><li>・銀行や信託における基幹系システムの更改などへの投資拡大を見込む。</li><li>・RPAなどの生産性向上に向けた新たな投資が増加している。</li><li>・保険は基幹系システムの更改需要が堅調に推移する見込み。</li></ul>
情報通信	<ul style="list-style-type: none"><li>・設備投資の抑制傾向に変わりはないが、顧客管理などの基幹系システム刷新等の新たな投資需要の継続を見込む。</li></ul>
製造	<ul style="list-style-type: none"><li>・自動車産業では自動運転技術や周辺インフラの開発需要が増加見込み。</li><li>・自動車産業以外では、情報家電の減少は続くが、AI、IoTやロボティクス関連などへの投資が拡大傾向にある。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・医療・福祉・公務では、地方自治体や共済などにおける基幹系システムの更改需要の継続を見込む。</li><li>・卸売・小売は生産性向上や顧客管理・顧客接点強化などへの投資が堅調に推移する見込み。</li></ul>

# 平成31年3月期 通期業績予想【連結】

売上高は、前年同期比+38.3億円、4%超の成長を目指す。  
 営業利益は、前年同期比+1.7億円とし、2期連続の増収増益および過去最高業績の更新を目指す。売上、営業利益とも当初予想と同じ。

(単位：億円)	金額	売上比(前年同期比)	前年同期比	
			増減	比率
売上高	870.0	—	+38.3	104.6%
売上総利益	172.0	19.8% (Δ0.0pt)	+7.5	104.6%
販管費	85.0	9.8% (+0.2pt)	+5.7	107.3%
営業利益	87.0	10.0% (Δ0.2pt)	+1.7	102.1%
経常利益	87.5	10.1% (Δ0.3pt)	+1.7	102.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	58.5	6.7% (Δ0.2pt)	+0.8	101.5%

# 平成31年3月期 配当予想

第2四半期末配当は、当初予想どおり1株あたり35円とする。  
年間配当においても、当初予想どおりの80円とする。安定配当を継続的に実施し、総還元性向40%以上を目指す。

	第2四半期末	期末	年間	総還元性向 (連結)	配当性向 (連結)
平成31年3月期 (予想)	35円	45円	80円	42.1% ※	31.9%
平成30年3月期	35円 (記念配当 5円を含む)	45円	80円	42.9%	32.3%

※平成30年5～6月に自己株式約134千株(約6億円)を取得済

---

# その他資料

---

# (参考4)主なプレスリリース

公表日	会社名	タイトル・概要
6月18日	DTS	「自己株式の取得状況および取得終了に関するお知らせ」 ※取得総数:134,700株、取得総額:599,717千円 期間:平成30年5月14日～6月15日
8月3日	DTS	「当社連結子会社であるデータリンクス株式会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」 ※平成30年10月1日付で、データリンクス株式会社を株式会社DTSへ吸収合併することを決定
9月21日	DTS	住空間プレゼンテーションCAD「Walk in home」待望のリニューアル ※「Walk in home」の機能を大幅に刷新したリニューアル版の販売を開始
10月4日	デジタルテクノロジー	タイダルスケールと販売代理店契約を締結 ※デジタルテクノロジーはタイダルスケールの国内初の販売代理店となり、製品の販売・導入・保守を提供。デル社のサーバーとタイダルスケールのSoftware-Defined Serverソリューションで民間企業、研究機関、DC/クラウド事業基盤を中心とした新規市場を開拓する。

## <他社プレスリリース>

公表日	会社名	タイトル・概要
7月18日	東芝テック	「統計解析・AIを活用した商品の値決めやターゲット顧客の抽出 ～店舗運營業務省力化の実証実験を開始～」 ※東芝テックの店舗システム「PrimeStore」、顧客情報システム「CSdelight」とDTSの「統計解析・AIでの分析サービス」を活用した店舗運營業務の省力化の実証実験をドラッグストアの株式会社ケイポートで開始する(実験期間:2018年7月20日～9月30日)

平成31年3月期 第2四半期  
決算説明会

ご清聴ありがとうございました

新たな価値を創り出す

**MADE BY DTS Group**

The logo for MADE BY DTS Group features the text "MADE BY DTS Group" in a bold, sans-serif font. The text is white and is set against a dark red, curved background that resembles a stylized swoosh or a partial oval. The swoosh starts from the left and curves upwards and then downwards to the right.